

学生会だより

北陸信越学生会の活動

北陸信越学生会は新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県の10大学6工業高等専門学校により運営されており、2008年度の活動状況は以下のとおりである。

1. 幹事校会の開催

2008年度は2回の幹事校会が開催された。第1回は2008年7月19日(土)に富山工業高等専門学校で開催され、運営委員24名とオブザーバの学生員5名、および、幹事・顧問教員3名の出席があった。会議では、まず、委員長に稲場智亮君(富山工業高等専門学校)を選出して、①2007年度事業報告および決算報告、②2008年度事業計画、③「メカライフの世界」展、④全国学生研修会(中国四国学生会)、⑤学生員卒業研究発表講演会(富山高専)、⑥2008年度予算案、⑦学生会活動、について報告・審議と意見交換が行われた。会議の終了後に懇親会を開いて運営委員の交流を深めた。この幹事校会には多くの出席者があり盛況なものになった。

第2回は2008年12月19日(金)にホテルアクア黒部で開催され、18名の運営委員、および、幹事・顧問教員2名の出席があった。会議では、①第38回学生員卒業研究発表講演会、②「メカライフの世界展」報告、③全国学生研修会参加報告、④2009年度の委員長校、および、各県幹事校、について審議・報告された。

会議の終了後には、YKK(株)黒部事業所で開催された特別講演会・見学会「機械製造業におけるグローバル化の現状と課題」に参加して研修を行った。

2. 第46回全国学生研修会への参加

2008年8月18日(月)から20日(水)の3日間、第46回全国学生研修会が中国四国学生会の企画によって山口県で開催された。行事の詳細は本誌2008年12月号の学生会だよりに掲載されている。この研修会には委員長の稲場智亮君(富山高専)と運営委員の坂田脩弥君(長岡技術科学大学)の2名と幹事が参加した。この全国学生研修会のお世話をされた山口大学の先生方と学生たちに深謝する。

3. 「メカライフの世界」展の開催

2008年度「メカライフの世界」展は5校(表1)において実施された。「メカライフの世界」展は実験や展示を通じて子どもに機械や機械工学についてわかりやすく教えることによって機械や機械工学に興味を持たせ、将来の機械工学を担う人材の育成につなげることを大きな目標としている(図1)。各校とも興味深いテーマを取り上げ、さまざまな趣向を凝らしてわかりやすい実験や展示を心がけていた。この企画には多数の子どもが参加・見学し、機械工学のおもしろさの一端に触れていた。

4. 学生員卒業研究発表講演会の実施

第38回学生員卒業研究発表講演会が2009年3月6日に富山工業高等専門学校において開催された。申込

み件数153件、発表件数は151件で、2008年度より増加した。参加登録者数は297名で、全部で10室の会場があったが、立ち見が出るほどの会場もあり大変盛況な講演会であった。卒業研究として1年間取り組んできた研究成果を学生が熱心に発表し、その発表に対して学生たちにより活発な討論が行われた。この講演会で優秀な講演発表を行った学生に対して北陸信越支部から学生賞(卒業研究発表の部)が12件贈られた。

北陸信越支部では卒業研究発表講演

表1 北陸信越学生会2008年度「メカライフの世界」展

学校名	開催日	テーマ名
信州大学 繊維学部	2008.10.25	信州大学繊維学部ものづくりプロジェクト展示会
長岡工業 高等専門 学校	2008.11.1~ 2	長岡高専のものづくり教育と卒業研究の紹介
富山工業 高等専門 学校	2008.11.1	機械おもしろコンビニ「見てみよういろいろな機械と研究」
金沢工業 高等専門 学校	2008.10.25 ~26	メカライフの世界展
福井工業 大学	2008.10.11 ~13	地震に強い社会に向けて



図1 「メカライフの世界」展
(富山工業高等専門学校)

会の発表者は(社)日本機械学会の学生員であることが条件とされている。今後も学生員卒業研究発表講演会により多くの学生が参加し、学生員が増えることを期待したい。

5. その他

年間を通して学生会活動に貢献した学生員には北陸信越支部から学生賞(学生会活動の部)が贈られている。2008年度の学生賞は、富山工業高等専門学校専攻科(1グループ、稲場智亮君と山中法文君)に贈られた。[富山工業高等専門学校 機械工学科 教授 西田 均]

関西学生会の活動報告

関西学生会は、24校(大学18校、高等専門学校6校)に属する1050余名の学生会員を擁する大きな組織である。

(会員校：大阪大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪市立大学、大阪府立大学、関西大学、京都大学、京都工芸繊維大学、近畿大学、神戸大学、摂南大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、大阪電気通信大学、滋賀県立大学、兵庫県立大学、和歌山大学、明石工業高等専門学校、大阪府立工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、舞鶴工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校)

学生会の運営は、12の幹事校を中心に運営されており、毎月1回、幹事校より30余名の運営委員が出席する運営委員会が開催されている。運営委員会においては、関西学生会が重視している「メカライフの世界」展、「卒業研究発表講演会」、「見学会」の活動に関する企画立案・実施を含む、学生会活動全般について熱心な検討がなされている。以下に、関西学生会の主な活動内容を記す。

1. 「メカライフの世界」展

4月に開催される上半期総会から企

画会議を重ねて、「メカライフの世界」展の実施に向けて検討を行っている。2008年度の「メカライフの世界」展は、神戸市立青少年科学館において11月15、16日に開催され、943人の入場者があった。開催のPRは、学生会が作ったパンフレットの神戸市内の小中学校への配布、神戸市立青少年科学館の行事案内、マスコミを通じた広報などによって行われた。出展物は、ペットロボット、レスキューロボット、形状記憶合金など多彩な内容で、工作コーナーや手作りホバークラフトの体験試乗など小学生から大人までそれぞれが興味を持ったもので遊び、担当の学生に質問するなど盛況であった。2009年度も引き続き、神戸市立青少年科学館において、11月14、15日に開催予定である。

2. 卒業研究発表講演会

卒業研究発表講演会(卒研講演会)は、毎年3月の卒業時期に開催され、多くの学生が1年間の研究成果を発表する場となっている。2008年度の講演会は、2009年3月15日に近畿大学本部キャンパスにおいて開催され、382件の講演がなされた(図1)。卒研講演会ではBest Presentation Awards(BPA)が設けられており、38名が受賞(賞状ならびに副賞のメダルを授与)した。BPAの評価は司会者(大学院生)とコメンテータをお願いしている商議員の方々や会員校の先生方、関西支部シニア会会員によって行われている。講演プログラムの編成、講演会の運営、BPAの採点集計・発表などはすべて学生会運営委員が担当している。2009年度の卒研講演会は2010年3月16日に神戸大学にて開催される予定である。

3. 見学会

関西学生会では、年2回の京阪神地区の工場の見学会を開催している。2008年度は、9月19日に(財)鉄道総合技術研究所風洞技術センターおよびフジテック(株)Big Wingの見学会を実施し25名が参加、12月16日には全日空整備(株)の見学会



図1 卒業研究発表講演会の様子



図2 全日空整備(株)見学会の様子

を実施し36名が参加した(図2)。例年、関係企業のご理解とご協力を賜り、学生にとって、産業界の実体に触れる貴重な意義深い見学会となっている。

4. その他の活動

機関誌「春秋」を、学生による自主的な編集のもと、年1回刊行している。学生会の活動報告、「メカライフの世界」展などの行事内容や大学・高専の紹介などが掲載され、関西学生会会員校に無料配布している。

また、関西支部主催の「企業技術交流会」へ積極的に参加し、多数の企業の方々と交流する貴重な機会を得ている。「関西支部シニア会企画」への協力も行い社会貢献する機会も得ている。

以上のように、関西学生会では全国の学生会活動の中でも特筆できる活発な活動がなされている。関西学生会は多くの学生員に機械工学を学び、触れ、体験できる機会を提供し、会員の個々の日常の学習や研究のレベルの向上に大いに貢献していると確信できる。今後も多数の学生員の参加により、関西学生会がますます発展していくことを期待している。

[大阪大学大学院 工学研究科 修士1年 西嶋 修]